

さいわい塾(つるかめクラブ)



【中村学区】

■世帯数：3,769 世帯

■人 □：7,380 人

■面 積：0.742 k^m²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 毎月第四金曜日に幸町下区公民館において開催。延べ参加者数は約 250 人。
- ・ 毎月 1 テーマを定め、学習・勉強・知識向上を行い、メンバーが興味を持って参加できるようにしている。（例：絵手紙作成、絵馬作成、尿もれ体操など）
- ・ テーマが決まらない場合は 1 時間程度の雑談をする。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧と、年間行事計画への掲載

【アピールポイント】

以前よりもコミュニケーションが取れるようになり、高齢者が抱えている困りごとに関する情報が入り、手助けをすることができた。

2 きっかけ、背景

老人会に所属するメンバーでも、コミュニケーションがなかなか取れず、老人会が名ばかりになっては問題だとの意見があり、まずは一人でも多く、一回でも多く外出してもらうためにその機会をつくろうと、「お茶飲み会」の開催からスタートした。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員 1 人、老人クラブ 8 人 計 9 人

(2) 他団体との協力

講師等、原則は町内の方に、テーマによっては外部に依頼している。

(3) 運営協力

会役員の協力により運営

4 実施のスケジュール

H24 年
5月 ゴキブリだんごづくり



6月 町内日帰り旅行に参加（水郷めぐり）



7月 早朝ラジオ体操に参加



8月 絵手紙作成



10月 秋祭りに参加（子どもと一緒に）



11月 絵馬づくり

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・ 初めの頃は 10 人程度だった参加者が 15～20 人ほどまで増加した。
- ・ 高齢者の困りごとに関する情報を入手できた。

(2) 苦労した点

- ・ テーマの選定に苦労している。行政テーマの活用等、幅広く選択肢を持って推進している。

(3) 今後の課題・展望

- ・ 活動の継続が課題。肩肘を張らずに集まることを最優先にして継続したい。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・ 老人会はもとより、町内会のバックアップが大事である。